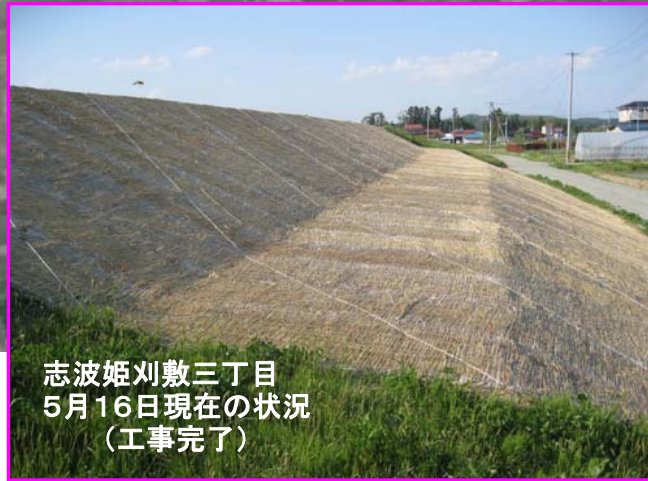


河川・砂防工事だより（第2号）

平成23年3月11日の『東北地方太平洋沖地震』により、栗原市内の河川においても多くの被害が発生しました。特に迫川の傷跡は深く、市内5箇所にて台風シーズン
の大雨により堤防が破れる恐れがあります。そこで堤防決壊の恐れがある箇所については、梅雨入りする6月までに堤防機能を回復させるため、他の被災箇所
に先行して工事を進めています。なお、若柳大林境前の堤防機能は回復するものの、道路の通行が可能となるのは8月頃となる見込みです。なにかとご不便をおかけしますが、ご協
力のほどよろしく申し上げます。



凡 例	
	堤防の被災箇所
	堤防被災箇所であり、応急工事の必要箇所

河川・砂防工事に関する問い合わせ

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所：河川砂防班 電話 0228-22-2193(直通)

若柳大林（迫川左岸）の工事進捗状況



災害発生



クラック(亀裂)に石灰水を流し込み、石灰の跡をたどりながら掘削して、クラックの深さや方向を調べます



舗装を取り壊します



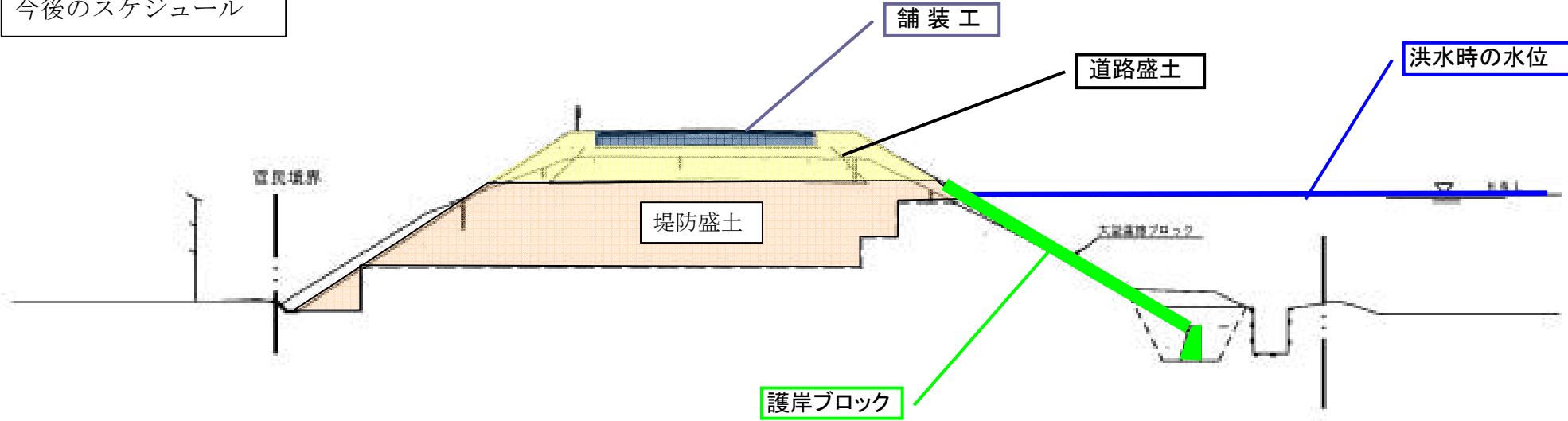
クラック調査の結果を基に、地盤のゆるんだ範囲の堤防の土を取り除きます



ゆるんだ土を取り除いた後、締め固めながら、もとどおりに土を盛ります

5月中旬の状況です

今後のスケジュール



- ・ 堤防盛土（～5月下旬）
- ・ 護岸ブロックを取り付けます
- ・ 道路盛土を行います
- ・ 舗装を行います（8月完成）

